



	男子	女子	計	男子	女子	計
1年	24	24	48	4年	23	31
2年	33	21	54	5年	32	30
3年	34	24	58	6年	43	30
				ひばり	16	8
						24

「よく遊び よく学ぶ 心豊かな子」

進んで学ぶ子 助け合う子 健康な子

3月1日現在児童数 373名



「6年生 ありがとう！」

校長 浦野 和彦

2月9日に行われた音楽集会。1年生が「エトはメリーゴーランド」の合唱と「子犬のマーチ」の合奏を披露しました。入学当初、幼く不安な気持ちで登校していた1年生もすっかり学校に慣れ、ぴったり息の合った発表ができました。子供の成長には目を見張るものがあり、感心させられます。また、全校児童373名が、美しいハーモニーを体育館に響かせます。2月は、♪♪世界が一つになるまで ずっと手をつないでいよう 温かい微笑みで もうすぐ 夢が本当になるから♪♪という「世界が一つになるまで」でした。声だけでなく、体全体でも表現している子がたくさんいます。1年生から6年生まで全員が気持ちを合わせて楽しそうに歌います。6年生の歌い方は、口の開け方も発声も姿勢も、そのすべてが下級生の模範です。6年生の姿を見て、全員が気持ちを合わせて歌います。

また、2月23日には「6年生を送る会」が行われました。1年生から5年生までが心を込めた手紙や手作りのプレゼントを贈ったり、これまでお世話になった感謝の気持ちを劇や歌声に乗せたりして6年生に伝えました。6年生からはそれに応えて、合唱「友」の素敵な響きを聞かせてくれました。鷹野小学校から飛び立とうとする6年生を、児童も、職員も心から祝福する素晴らしい会となりました。

元気と知恵と笑顔に溢れた鷹野っ子が夢いっぱい胸を弾ませ、本校を巣立っていくことをお祝いし、これからも卒業生の皆さんの限りない前進を応援し続けています。鷹野小学校は、勉強でも運動でも、何をやるにも一生懸命です。それは自分たちの身近に、6年生という見本があるからです。先生方も負けてはいません。子供たちに負けまいと、朝早くから夜遅くまで懸命に取り組んでいます。本校の子供たちを「よく遊び よく学ぶ 心豊かな子」にするためです。

そんな6年生に、今年もこの詩を送ります。

子供たちよ。これはゆずり葉の木です。

このゆずり葉は 新しい葉が出来ると 入り代わって古い葉が落ちてしまうのです。

こんなに厚い葉 こんなに大きい葉でも 新しい葉が出来ると無造作に落ちる

新しい葉にいのちをゆずってー

河合酔茗 作 「ゆずり葉」より

卒業式まであと22日となりました。修了式までは、26日を残すだけです。「ゆずり葉」の葉は、新しい葉ができると、古い葉は後をゆずって落ちてしまいます。ですから「ゆずり葉」と名づけられたようです。通学班の班長も新しくなり、クラブ活動や委員会活動のメンバーも新しくなることでしょう。6年生はこれまで、一生懸命、立派な葉をつけて輝いていましたが、いよいよ5年生や4年生にゆずる時が近づいてきました。

古いゆずり葉になってしまう6年生ですが、決して散って落ちるのではありません。中学校では新しいゆずり葉となります。なぜなら、素直に人の意見に耳を傾け、なおすべきところがあればなおせる力をつけました。泣き言を言わずに、仲間とともにがんばれる精神力もつけました。人としての道から外れそうな友がいたら、「こっちにおいでよ」と助言する力もつけました。

こんな素晴らしい伝統を引き継ぎ、守り、発展させてくれた6年生、ありがとう。

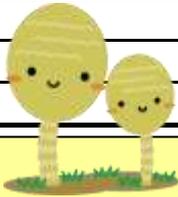
中学校での皆さんの活躍を心から期待しています。

学校だよりカラー版は、ホームページでご覧いただけます
<http://www.edu.city.misato.lg.jp/takanosho/>



3月の主な行事予定

日	曜	主な行事等	日	曜	主な行事等
1	木	きずなの会 4, 5年・短縮5校時	16	金	卒業式予行
2	金	お話朝会 放課後マイペース教室	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	給食最終日
5	月	卒業式練習開始	20	火	1~3年・歓送会 卒業式準備 短縮3校時
6	火	フレンドリータイム	21	水	春分の日
7	水	児童集会 クラブ活動(最終)	22	木	卒業証書授与式 4~6年・歓送会 1~3年・臨時休業日
8	木		23	金	家読の日 短縮3校時 6年・臨時休業日
9	金		24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	修了式 短縮3校時 6年・臨時休業日
12	月	通学班会議・地区下校	27	火	↑
13	火		28	水	
14	水		29	木	学年末休業日
15	木		30	金	
			31	土	↓



卒業おめでとう

6年生は、いよいよ卒業を迎えます。3月5日(月)からは卒業式の練習を開始します。小学校6年間で最後の大きな儀式的行事です。当日は、卒業していく6年生の立派な姿を見せることができるように、式中の作法や行動の仕方、歌唱や声の出し方など、指導に力を入れていきます。保護者の皆様には、巣立ちゆくお子さんのために、励ましの言葉かけをお願いします。

4, 5年生は、在校生代表として式に参加します。式に臨む態度、気持ちのこもった送る言葉など、次に鷹野小を担う期待と信頼を得られるような姿をお見せします。

卒業証書授与式について、お知らせします。

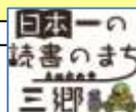
- 1 日時 平成30年3月22日(木) 受付 8:30~8:50 終了予定時刻 10:30
- 2 場所 体育館
- 3 その他

- 保護者の皆様は、8:50までに入场・着席してください。また、上履き・靴袋をご用意ください。
 - 保護者の自動車での来校はご遠慮ください。
 - 式終了後、卒業生は学級活動があり、保護者とともに記念写真撮影があります。
 - 4・5年生は、在校生代表として式に参加し、卒業生の記念撮影後、歓送会があります。
 - 1・2・3年生は、お休みです。家庭読書の日ですので、読書に励みましょう。
- ご参加される方々には、ぜひ、心に残る厳粛で立派な卒業式になりますようご協力をお願いします。

たかのの学力向上

全国及び埼玉県学力・学習状況調査に向けて

4月12日(木)に新4, 5, 6年生対象の埼玉県学力・学習状況調査を、4月17日(火)に新6年生対象の全国学力・学習状況調査を実施します。それぞれ、現学年までの学習内容が出題されます。全国の方は、理科が加わります。1年間の学習の復習をしっかりして、成果を発揮できるようにしたいものです。御家庭でも、家庭学習の取組をお願いします。



たかのの読書活動

校内読書郵便の取組

2月13日(火)から本日3月1日(木)まで、校内読書郵便を実施しました。友だちや先生におすすめの本をはがきを書いて紹介する取組です。投函されたはがきはブックマスターが配達をしました。

2月の全校貸出冊数 3, 130冊 一人平均 7.9冊

2月までの全校貸し出し冊数 38, 321冊

一人平均 **102.5冊** 昨年度 26, 147冊



2月の 鷹野っ子 思い出 アルバム

緑の絵画コンクール

入選 1年 須賀向日理

おめでとう

傾聴作文表彰

2月20日に校長室において、1月の傾聴賞表彰を行いました。
表彰児童は次のとおりです。おめでとうございます！

題名「貝がら」

1年1組	須賀向日理、角田信鷹、松崎三紅
1年2組	板垣綾音、菊名恵衣、竹内晴人
2年1組	須澤英飛、篠田知輝、宮後杜空
2年2組	雨宮拓海、浜島千桜、渡部楓詩
3年1組	倉井康生、佐藤亮太、重久瑠衣、茂木康介
3年2組	阿諏訪友里、梅澤慶人、遠藤雅來、加藤紫音
4年1組	神戸結希、兼平琉斗
4年2組	柴田美羽、飯村美緒、熊代実花、高山優作、濱島将吾
5年1組	冨永怜奈、内田将太、及川冴帆、小橋瀬夏、竹内なる
5年2組	細越悠有里、五十嵐ひより、加藤凜、西脇直央、山口雄介
6年1組	武内瑠香、及川紳曜、工藤稜万、柴田愛翔、浜島伊織、渡部琉斗
6年2組	菅原壮真、池澤大智、中島匠、中村遥香、深野涼捺、本図希愛
ひばり	寺岡隼翔、渋谷絆揮、平山怜奈



2月16日 感謝の集い

1年間、子どもたちのために、いろいろなことを教えていただき、支えていただき、見守っていただきましたボランティアの皆さんに感謝の意を表しました。**ありがとうございました！**



2月23日 6年生を送る会

1年生から5年生が6年生の卒業を祝うとともに、学校の顔として活躍しお世話をしてくれた6年生に感謝しました。**私たちが鷹野小を引き継ぎます！**



学校評価の公表

※「学校自己評価」は本校教職員による評価、「学校関係者評価」は学校評議員及びPTA役員で構成する学校関係者による評価です。 数値は、4点満点中の得点です。

評価項目		評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
平成29年度 学校評価報告書 三郷市立鷹野小学校						
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	3.35	3.22	・先生方の努力で基準に達している。 ・特別支援担当と連携し、保護者の思いを聞きながら対応できている。
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.10	3	・学年間の連携がもたらせるとよい。 ・改善を反省で書いても翌年に生かされないことが多いので、反省はデータを残すことや、各部会を積極的に行うことの重要性を感じる。
	特色ある学校づくり	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.20	3.78	・様々な分野での努力がすばらしい。 ・算数における「たかの学習」、ゴーヤの栽培をはじめとする「緑の学習」ができています。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	3.15	3.44	・学力向上の委嘱もあって、「たかの学習」を全教員で進めることができた。
	資力向上	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取組をしている。	3.60	3.89	・倫理確立委員会の確実な実施。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.20	3	・教職員の健康で指導力向上のために、実践的な研修の機会や教員間のコミュニケーションを密にする時間的な余裕が必要である。
授業等の状況	学力向上	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に取り組んでいる。	3.20	3.22	・学力向上の研究委嘱を推進することで、授業改善をし、全国学力テストや県学力テストで伸びを示すことができた。
		8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.15	3.33	・算数科については、「たかの学習」を実践することで、基礎・基本を身につけさせている。
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.30	3.44	・全学級に共通の「授業の心得」を掲示し、共通の指導ができています。
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	3.16	3.22	・クラスによる。 ・学級経営が困難になる前に、具体的なアクションを行うことが必要。 ・課題があることも見受けられたが、職員が組織的にかかわった点は良かった。
	読書のまち	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	3.55	4	・すま読書など習慣化されていない。 ・貸出冊数を飛躍的に伸ばすことができた。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。	3.55	4	・楽しんで読むをもっと増やしたい。難しい本(年相応の本)も。 ・人気がある本を増やしたい。 ・ブックマスターの取組や、読書フレンドリーがとも良かった。子どもたちが大変喜んでいました。
健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.20	3.11	・たくさん食べるこの努力は、とてもしている。 ・残量は減っているが、空にすることばかりでなく、一人一人がなるべく残さず食べられるよう支援することも大切である。	
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	2.95	3.33	・以前に比べ、外遊びが増えた。 ・業間、昼休みに外へ出ている子が多い。なわとびなど、もう少し工夫して取り組めるようにしていきたい。 ・委員会や行事等で、外遊びの時間の確保が難しい。	
進捗の推	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育を積極的に推進している。	3.25	3.22	・来年度からの教科化へ向けて、道徳教育が充実するよう、働きかけていかなければならない。	
	16	教職員は、道徳授業の工夫改善をしている。	3.26	3.11	・年間1本ではなく、もっと研修を行ってもよいのではないかと感じている。 ・道徳の授業の工夫改善を推進している。	
指導・管理の状況	礼儀正しい児童生徒の育成	17	学校は、自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.10	3.33	・管理職から、日常的に若い先生たちに、児童の範となるよう行動することを指導している。
		18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。	3.26	3.22	・あいさつについては個人差が大きい。声の小さい子や顔を见ないあいさつする子が多い。 ・人によって声の大きさや態度を覚えてあいさつする子が多い。 ・学校外での実践力を高める指導が必要である。
		19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.00	3.22	・「はい」「～です。ます。」をはっきりと言えるようになることよい。 ・指導していても、定着していないところがあるので、続けていく必要がある。
	生徒指導	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.30	3.22	・すみやかな登校ができなくなっている児童が増えているが、組織的に取り組んでいる。一人一人を見届ける時間が必要。 ・染染している子に対する指導を共通理解したい。
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.40	3.78	・問題行動に応じ、連携を取ってきた。
		22	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合う指導をしている。	3.10	3.11	・子どもたちの言動に心・耳を傾け、正しいことがしつかり通るようにさせた。ダメなものダメ。 ・SNSトラブルに対する啓蒙が、引き続き必要。
安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.55	4	・竜巻や落雷、降雪、ミサイル対応など、危険の種類が増えていて、危機管理マニュアルにひとまとめにしていきたい。	
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	3.65	4	・定期点検の結果、修繕に努めているが、修繕を要する箇所が多すぎて、なおかつ校舎の老朽化のため、修繕に費用がかかり過ぎて手がつかないところがある。	
環境整備	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。	3.15	3.44	・流しや流し前、トイレ床や欄など、しっかりと清掃。げた箱や傘立てが整頓されていない。 ・下駄箱の掲示を定期的に更新する。	
	26	学校は、学習環境を整えるため、施設・設備の充実を図っている。	2.95	3.11	・予算の範囲で出来る限り整備している。	
家庭・地域との連携状況	家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	3.40	4	・学校だよりは、市の教育について必要なことを抑えている。 ・頻りにHPを更新できている。
		28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。	3.42	4	・親の学習を4回実施することができた。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.58	4	・日ごろから、PTAの支援によるところが大きく、積極的に協力しようという心がけている。	